

天蚕の稚蚕と壮蚕の分離飼育による結繭率向上効果

福島県農業試験場梁川支場
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 蚕糸－育蚕－生理生態
分類コード 09-02-04000000
- 2 担当者 三田村敏正・野木照修
- 3 要 旨

天蚕の稚蚕(1～2齢)を、天敵が侵入しないよう寒冷紗で被覆した鉢植えのエゾノキヌヤナギで飼育した後、パイプハウスへ放飼した結果、以下の知見を得た。

(1) 1回目飼育では、3齢時の生存率は100頭区が91.9%、50頭区で97.2%といずれも90%以上となり、その後のパイプハウスへの放飼結果でも1本当たり8頭放飼区で放飼頭数に対する結繭率が92.0%となった。

(2) 2回目飼育では、3齢時の生存率が100頭区で90.3%と最も高く、その後のパイプハウスへの放飼では1本当たり8頭放飼区で放飼頭数に対する結繭率が92.5%となった。

(3) これらから、それぞれ最も高い区で対孵化当たりの結繭率を算出すると、通算の結繭率は1回目、2回目ともに80%以上の高い値を示した。

- 4 その他の資料など

蚕糸・昆虫利用研究報告第29号(2004)